

2022年度第1四半期 決算報告書

プレスリリース
2022年5月3日、パリ発



堅調な決算、ジョーズ効果はポジティブ
新年度の滑り出しから事業活動は順調
2022年度の足場を固める好業績

営業収益の伸びは極めて高水準

ホールセールバンキング (CIB) 部門がアウトパフォーム (+28.1%)
コマーシャル&個人向けバンキング サービス (CPBS) 部門¹の増収も力強い (+8.5%)
インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門も底堅い (-0.2%)
営業収益：連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比+10.4%

力強い事業実績

ジョーズ効果はポジティブ (+3.4ポイント)
連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除き、かつ、IFRIC 第21号「賦課金」²を除いた場合
事業の伸びを支援
単一破綻処理基金²に対する拠出増 (前年同期比+3億300万ユーロ) および
連結範囲の変更・為替レート変動による影響により、約50%のコスト増
IFRIC 21²を除いた費用：連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比+7.0%

リスク費用はごく低水準：20bp³

当四半期はバンクウェストにおける引当解除により多大な影響が発生
(基調的なリスク費用：バンクウェストを除くと30 bp³)

純利益が力強く増加

純利益⁴：21億800万ユーロ、前年同期比+19.2%
(一時項目の影響と単一破綻処理基金²に対する拠出を除くと、前年同期比+37.1%)

バランスシートは盤石

普通株式等Tier 1比率⁵：12.4%
成長の加速と当四半期の特殊要因
(特に複数の規制変更の実行)

1. コマーシャル&個人向けバンキング事業 (ユーロ圏、欧州・地中海沿岸諸国、米国) のプライベート・バンキングの100%を含む (フランスの PEL/CEL の影響を含む) ; 2. 国際財務報告基準解釈指針委員会 (IFRIC) 第21号 (以下「IFRIC21」) 「賦課金」の適用により当年度に計上される税金・拠出金のほぼ全額を第1四半期に計上 (単一破綻処理基金に対する推定拠出額を含む) ; 3. リスク費用+顧客向け融資期首残高; 4. 親会社株主帰属純利益; 5. 資本要求指令4 (CRD4)。国際財務報告基準 (IFRS) 第9号経過規定を含む。



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world



本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくはBNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化（世界的には特に新型コロナウイルスのパンデミック関連）、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測です。

BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス (Supervisory Review and Evaluation Process : SREP)」は欧州中央銀行 (ECB) により毎年実施されますが、BNP パリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれるBNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。



BNPパリバの取締役会が2022年5月2日に開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2022年度第1四半期の業績が検討されました。

今回の決算を踏まえ、ジャン＝ローラン・ボナフェCEO（最高経営責任者）は取締役会の最後に以下のように述べました。

「BNPパリバ・グループは、経営資源全てと事業全てをこれまで以上に結集しており、個人・法人・機関投資家のお客様を景気循環のあらゆる局面でご支援する姿勢を体現しています。

BNPパリバは、ビジネスモデルの強みを発揮し、お客様や経済のニーズを満たす能力を活かし、2022年度第1四半期に卓越した業績を達成しました。この優れた業績は、お客様に寄り添い長期的関係を築いてきた各チームのコミットメントを反映しています。

当グループは戦略プラン『Growth, Technology & Sustainability 2025』を掲げ、欧州経済に資する有数のプラットフォーム開発、技術的進歩の追求、および、お客様がより持続可能な様式へ移行するご支援を続けています。BNPパリバは、野心的な環境・社会面の目標達成に邁進しており、より積極的に経済や社会の変革に加わることを目指しています。

BNPパリバの世界中のチーム全てに謝意を表します。お客様に常に寄り添ってきた一貫した結集力により、我々への信頼は益々高まっています。」

*
* *

他に特に言及がない限り、本プレスリリースに含まれる財務情報・事項にはバンクウエスト関連の活動が含まれ、事業上の見解を反映しています。当該財務情報・事項は、国際財務報告基準（IFRS）第5号（売却目的で保有する非流動資産に含まれる資産および負債に関連）の適用により生じる影響は反映しておりません。本プレスリリースでは、下記の通り、IFRS 第5号を適用せずに提示する事業上の見解とIFRS 第5号を適用した場合の連結財務諸表の調整を含めています。

堅調な決算

BNPパリバは、多角的かつ統合的なビジネスモデルや堅実なリスク管理を土台とし、力強い業績を達成しました。

当グループは事業展開の多様さを武器に、お客様に寄り添い経済と共に歩む力を包括的に擁しており、2022年度第1四半期も事業活動と業績を力強く伸ばし続けることができました。

堅調さは当四半期に達成した力強いモメンタムに表れています。背景には2021年/2022年初めに実現した戦略的発展の継続があり、また、戦略プラン『Growth, Technology & Sustainability 2025』に則って事業分野全てで取り組んでいる様々なイニシアチブもあります。2022年の環境は短期的には対照的ですが、この力強いモメンタムが2022年の業績の着実な歩みを既に支えています。こうした状況下、BNPパリバは独自のビジネスモデルの強みから従来以上に恩恵を得ており、基調的な経済以上の成長を生み出し、グループ全体の2025年の目標¹達成を裏打ちしています。

当グループ全体の当四半期の営業収益は132億1,800万ユーロに上り、前年同期比11.7%増でした。

事業部門の当四半期の営業収益は、力強い事業活動が奏功し、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比13.5%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同12.1%増でした。牽引したのはホールセールバンキング（CIB）部門の力強い増収で（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると +28.1%、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと +23.6%）、市場シェアの向上や2021年/2022年初めの戦略的発展による加速が寄与し、特に株式事業と

¹ 下記「2022～2025年戦略プラン」セクションを参照されたい



証券管理事業が貢献しました。コマーシャル&個人向けバンキング サービス (CPBS) 部門の営業収益は、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると**8.5%増**¹、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**8.1%増**¹でした。この増収の牽引役は、コマーシャル&個人向けバンキング事業の力強い伸び（手数料収入の一段の増加や純利息収入の改善により、前年同期比**+7.5%**¹）と専門的金融事業（特にアルバル）の営業収益の急増でした（同**+10.6%**）。一方、インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門の事業環境は精彩に欠け、当四半期は市場動向も不利に働きました。この結果、IPS部門の営業収益は連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比**0.2%減**、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同**0.8%増**でした。

営業費用はグループ全体で当四半期は**96億5,300万ユーロ**、前年同期比**12.3%増**でした。費用増の要因は事業開発の支援関連やIFRIC 21「賦課金」の大幅増（特に単一破綻処理基金に対する拠出の急増）でした。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除き、IFRIC 21「賦課金」も除くと、**7.0%増**に留まります。

グループ全体の営業費用は、IFRIC 21「賦課金」を除くと前年同期比**9.5%増**、ジョーズ効果はポジティブでした。当四半期の営業費用の中には、IFRIC 21「賦課金」の適用により当年度に計上される税金・拠出金のほぼ全額**18億2,900万ユーロ**が含まれており（前年同期は**14億5,100万ユーロ**）、このうち**12億5,600万ユーロ**は単一破綻処理基金に対する拠出金（前年同期比**3億300万ユーロ増**）です。また、当四半期の営業費用には、一時項目として、事業再編費用²と事業適応費用³（**2,600万ユーロ**）、および、IT強化費用（**4,900万ユーロ**）が合計**7,600万ユーロ**含まれています（前年同期の一時項目合計は**7,700万ユーロ**）。

事業部門の営業費用は、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比**9.4%増**、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同**7.5%増**で、ジョーズ効果は高水準でした。CIB部門の営業費用は、事業の伸びに伴って膨らみ、連結範囲変更の影響もあり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると**18.3%増**、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**13.3%増**でした。ジョーズ効果は極めて高水準でした（**+9.8ポイント**）。CPBS部門⁴の営業費用は、コマーシャルバンキング事業、個人向けバンキング事業、専門的金融事業の各事業活動の伸びや連結範囲変更の影響により**5.2%増**で、ジョーズ効果は良好でした（**+3.3ポイント**）。内訳は、コマーシャル&個人向けバンキング事業⁴が**5.1%増**、専門的金融事業が**5.5%増**でした。IPS部門の営業費用は、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると**3.6%増**、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**3.9%増**で、主に事業開発支援や的を絞った取り組みで費用が嵩みました。

営業総利益はグループ全体で当四半期に**35億6,500万ユーロ**に上り、前年同期比**10.3%増**でした。

リスク費用はグループ全体で**4億5,600万ユーロ**、前年同期に比べて**49.1%減**、顧客向け融資残高の**20bp**相当とごく低水準で、特にバンクウエストの正常債権（ステージ1と2）の引当解除を主に反映しています。バンクウエストを除くと、リスク費用は顧客向け融資残高の**30bp**相当でした。

これらを受けて、営業利益は当四半期にグループ全体で**31億900万ユーロ**と前年同期比**33.1%増**を記録し、事業部門でも同**51.0%増**の大幅増益でした。

¹ コマーシャル&個人向けバンキング事業（ユーロ圏、欧州・地中海沿岸諸国、米国）のプライベート・バンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を含む）

² 特定の事業（特にCIB部門）の再編に関連

³ 特にCIB部門、コマーシャル&個人向けバンキング事業、ウェルス・マネジメント事業の事業適応策に関連

⁴ コマーシャル&個人向けバンキング事業（ユーロ圏、欧州・地中海沿岸諸国、米国）のプライベート・バンキングの100%を含む



営業外項目は、当四半期は一時項目の利益が前年同期比で大幅に減り、1億6,800万ユーロの利益でした（前年同期は4億8,700万ユーロの利益）。当四半期の営業外項目には、一時項目として、bpost bankの負ののれんから生じたプラス影響（+2億4,400万ユーロ）、持分売却による譲渡益（+2億400万ユーロ）、Ukrsibbankの証券の減損（-1億5,900万ユーロ）、為替差損益¹の再分類に伴うマイナス影響（-2億7,400万ユーロ）が含まれています。一時項目の合計額は、当四半期は+1,500万ユーロ、前年同期は+3億9,800万ユーロ（BNPパリバ・アセットマネジメントの保有持分売却による譲渡益+9,600万ユーロ、建物売却による譲渡益+3億200万ユーロを含む）でした。

税引前利益はグループ全体で当四半期は32億7,700万ユーロとなり、前年同期（28億2,300万ユーロ）比で16.1%増でした。

法人税率は平均で36.5%でした。これは特にIFRIC 21「賦課金」により当年度に生じる税金・拠出金のほぼ全額が第1四半期に計上され、この大半は税控除できないことによるものです。前年同期の平均法人税率は35.9%でした。

以上から、グループ全体の当四半期の株主帰属純利益は21億800万ユーロとなり、前年同期（17億6,800万ユーロ）比で19.2%増の大幅増益を果たしました。なお、一時項目による影響とIFRIC 21「賦課金」を除いた場合には37億8,500万ユーロに上り、前年同期比34.0%の大幅増益です。

有形自己資本利益率（ROTE、再評価前）は13.5%でした。

普通株式等Tier1比率は2022年3月末現在12.4%²でした。当グループの即時利用可能な余剰資金は4,680億ユーロに上り、これは短期資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味します。レバレッジ比率³は3.8%でした。

1株当たり有形純資産額⁴は2022年3月末現在で80.1ユーロに達し、2008年12月末からの年平均成長率は7.2%に相当し、当グループが景気循環を通じて企業価値を継続的に創造する能力を備えていることを証明しています。

当グループはウクライナの支援に携わっています。長年のNGOパートナー（国連難民高等弁務官事務所、赤十字社、国境なき医師団）や、フランス、ポーランド、ウクライナの団体に1,450万ユーロの寄付を行いました。また、ウクライナの社員とその家族向けに住宅1,700戸以上を世話しています。

当グループは社会的課題について結集して取り組みを続けており、お客様のエネルギー・環境移行のご支援も継続しています。

また、当グループは内部統制体制の強化も継続しています。

¹ 従来は連結持分に計上

² 資本要求指令4（CRD4）：国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む

³ 欧州中央銀行（ECB）の2021年6月18日の決定によって認定されたユーロ中央銀行制度（ユーロシステム）への預金関連の一時的免除を選択せず、規則（EU）2019/876に従って算定

⁴ 再評価後



ホールセールバンキング (CIB) 部門

CIB部門は当四半期に極めて力強い増収・増益を果たしました。堅調な顧客取引、事業の多様化、顧客ニーズを充足する能力向上が貢献しました。

CIB部門のEMEA¹地域のプレゼンスは様々なプラットフォーム（株式、キャピタルマーケット、トランザクションバンキングなど）で確立しています。部門内でプライムブローカレッジとBNP Paribas Exaneの事業活動を統合し、米州とアジア太平洋地域で事業拡大を続けています。

お客様の取引需要は債券・為替・コモディティデリバティブ市場で旺盛で、株式取引は高水準でした。発行市場は例年ほど活発ではありませんでしたが、ファイナンス事業は好調でした。市場はあまり盛況ではなかったものの（前年同期比-25%）²、シンジケートローン、債券、株式のグローバルブックランナー取引額は前年同期比15%減に留まりました。証券管理事業は力強い事業モメンタムや高水準の取引高が寄与し、押し上げられました。

CIB部門の営業収益は、当四半期は47億200万ユーロ、前年同期比28.1%の大幅増収でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+23.6%）。グローバル・バンキング事業の営業収益の伸びは良好で（高水準だった前年同期比で+2.0%）、グローバル・マーケット事業の増収は目覚ましく（同+52.8%）、証券管理事業も力強い増収でした（同+5.5%）。

グローバル・バンキング事業の営業収益は、当四半期は12億6,800万ユーロ、前年同期比2.0%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-0.8%）。営業収益はアジア太平洋地域で改善し、EMEA¹地域と米州では高水準だった前年同期比で横ばいでした。債券・株式市場がやや精彩を欠くなか、キャピタルマーケット事業は相対的に好調で、営業収益は前年同期比8%減に留まりました。アセットファイナンスは増収で、トレードファイナンスとキャッシュマネジメントの営業収益も前年同期比6%増でした。取引高は増加しています。融資残高は1,680億ユーロ³と着実に増えており（前年同期比9.3%増³、前四半期比3.0%増³）、預金残高は1,900億ユーロ³、前年同期比0.5%増³、前四半期比1.8%増³でした。

グローバル・マーケット事業の営業収益は、新体制の陣容に加え、顧客取引が全般的に堅調を維持したことから、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比52.8%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同46.3%増の大幅増収でした。債券・為替・コモディティ市場の活動は活発で、お客様の取引需要は強く、特に投資資金の再配分ニーズやヘッジニーズが顕著でした。また、グローバル・マーケット事業はプライムサービスと現物株の取引でも高水準を達成し、デリバティブ取引は仕組み商品を中心に期初に力強いモメンタムを示しました。

FICC事業⁴の営業収益は当四半期に17億ユーロに上り、前年同期比47.9%増の大幅増収でした。発行市場やクレジット市場の事業環境は有利ではなかったものの、債券・為替・コモディティデリバティブ市場での高業績に牽引されました。

株式・プライムサービス事業の営業収益は、当四半期は11億2,100万ユーロ、前年同期比60.9%増の大幅増収でした。増収要因は、事業分野全てで顧客取引が極めて堅調だったこと、BNP Paribas Exaneの業績寄与が約8,000万ユーロに上ったこと、プライムサービスの新規顧客による寄与が生じたことでした。市場リスクの尺度であるバリュー・アット・リスク（VaR。保有期間1日、信頼区間99%）は、2月下旬～3月の高ボラティリティにもかかわらず、堅実なリスク管理が奏功し、3,300万ユーロと低位に留まりました。

¹ EMEA：欧州、中東、アフリカ

² 出所：Dealogic社、2022年3月末時点

³ 平均残高（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く）

⁴ Fixed Income, Currencies, and Commodities（債券、為替、コモディティ）



証券管理事業の営業収益は当四半期は6億1,300万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比5.5%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同4.1%増でした。取引手数料の増加に加え、2021年の新規顧客のオンボーディングに伴う預かり資産平均残高の増加が寄与しました。当四半期はフランス預金供託公庫とのパートナーシップを更新し、全地域で新規大型マンドートの獲得を達成しています。また、事業変革も継続し、BNP Paribas Securities ServicesとBNP Paribas SAの合併も準備しており、2022年10月1日に実施予定です。証券管理事業の当四半期末の預かり資産は2021年3月末比2.9%増え、当四半期の取引高は3,900万ユーロと過去最高を記録しました（前年同期比+8.0%）。

CIB部門の営業費用は、当四半期は事業活動の伸びに伴って33億5,300万ユーロに上り、前年同期比18.3%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+13.3%）。ジョーズ効果は極めて高水準でした（+9.8ポイント）。

これらを受けて、CIB部門の営業総利益は当四半期に13億4,900万ユーロとなり、前年同期比61.4%増でした。

CIB部門のリスク費用は、当四半期は200万ユーロとごく低位でした。グローバル・バンキング事業で2,000万ユーロの削減を行ったことによるもので、正常債権（ステージ1と2）の引当解除に加え、不良債権のリスク費用もごく小幅に留めています。

以上から、CIB部門の税引前利益は当四半期に13億5,300万ユーロに達し、前年同期比98.1%増の大幅増益でした。

*
* *



コマーシャル&個人向けバンキング サービス (CPBS) 部門

CPBS部門は、コマーシャル&個人向けバンキング事業の力強いモメンタム、および、専門的金融事業の着実な伸びにより、当四半期も成長継続を達成しました。融資残高は前年同期比4.8%増、預金残高は同8.2%増でした。プライベート・バンキングへの資金純流入は極めて力強く、50億ユーロ近くに達しました。

CPBS部門はオペレーティングモデルの変革に取り組んでいます。ベルギーでは**bpost bank**を2022年1月1日付けで統合し、**bpost**と7年間の独占提携を結びました¹。同様に、イタリアでは**BNL**バンカ・コメルシアレが特定のITアクティビティの外部委託へ第一歩を踏み出しています。また、専門的金融事業はフランスの後払い決済 (Buy now Pay Later) 最大手**Floa**を2022年2月1日付けで合併しました。

CPBS部門はデジタル化の推進を続けており、当四半期のモバイルアプリへの月次接続回数は2億6,300万回²に上りました (前年同期比+21%)。

営業収益³は、当四半期は69億7,900万ユーロ、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比8.5%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同8.1%増でした。コマーシャル&個人向けバンキング事業の営業収益の伸びが堅調で (前年同期比+7.5%)、ユーロ圏の増収が力強く (同+6.5%)、欧州・地中海沿岸諸国は大幅増収でした (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合、同+46.0%)。専門的金融事業の営業収益も大幅に増え (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合、前年同期比+10.6%⁴)、主にアルバルとリーシング・ソリューションズが力強く寄与し、パーソナル・ファイナンスのモメンタムも良好でした。

営業費用³は、当四半期は事業開発の支援関連で48億4,800万ユーロと前年同期比5.2%増でしたが、ジョーズ効果は極めて良好でした (+3.3ポイント)。

これらを受けて、営業総利益³は当四半期に21億3,100万ユーロとなり、前年同期比17.0%の大幅増益でした。

リスク費用³は4億100万ユーロでした。バンクウエストで計上していた引当の解除が主因となり、前年同期比40.0%削減となりました。

以上から、プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業 (インベストメント&プロテクションサービス部門) へ配分した後、CPBS部門の税引前利益⁵は当四半期に17億6,100万ユーロとなり、前年同期比58.7%の大幅増益でした。

¹ 関係当局の承認を要する

² 範囲：個人顧客、中小企業顧客、プライベート・バンキング顧客 (コマーシャル&個人向けバンキング事業、デジタルバンク、Nickel、パーソナル・ファイナンス)

³ プライベート・バンキングの100%を含み、PEL/CELの影響 (2022年度第1四半期は+1,100万ユーロ、2021年度第1四半期は+100万ユーロ) を含む

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比+8.8%

⁵ PEL/CELの影響 (2022年度第1四半期は+1,100万ユーロ、2021年度第1四半期は+100万ユーロ) を含む



フランスのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBF)

CPBFの当四半期の事業活動は顧客セグメント全てで増加しました。融資残高は前年同期比2.4%増で、住宅ローンの組成が高水準だったほか、消費者ローンや法人向け貸出のモメンタムも良好でした。預金残高は前年同期比6.3%増で、法人顧客・個人顧客双方の預金増が含まれています。

手数料収入は当四半期に大幅増を達成しました。主に法人顧客の力強い需要を追い風に事業活動が堅調で、決済手数料とキャッシュマネジメント手数料の好調な伸びが続き、恩恵を受けました。オフバランス貯蓄商品は2021年3月末比0.7%増で、生命保険への資金流入総額の増加が貢献しましたが（前年同期比+6.6%）、短期ミューチュアルファンド残高の減少で相殺されました。フランスのプライベート・バンキングへの資金純流入は23億ユーロと極めて堅調でした。

営業収益¹は当四半期に16億1,300万ユーロとなり、前年同期比8.9%の増収でした。純利息収入¹は安定的な利鞘により6.2%増と堅調で、取引高の増加に加え専門的金融事業を手掛ける子会社の好調が貢献しました。手数料収入¹は前年同期比12.0%増と大幅に伸び、2019年を上回る水準に達しました（2019年度第1四半期比+12.2%）。

営業費用¹は当四半期は12億3,900万ユーロ、前年同期比5.4%増でした。事業の伸長支援に伴って嵩みましたが、推進中の事業適応策の影響で一部相殺されました。ジョーズ効果は極めて良好でした（+3.5ポイント）。なお、IFRIC 21「賦課金」を除くと、営業費用は3.6%増に留まります。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に3億7,400万ユーロとなり、前年同期比22.4%増でした。

リスク費用¹は、当四半期は9,300万ユーロ（前年同期比3,200万ユーロの削減）、顧客向け融資残高の17bp相当と低位でした。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、CPBFの税引前利益²は当四半期に2億5,000万ユーロとなり、前年同期比63.2%の大幅増益でした。

¹ プライベート・バンキングの100%を含み、PEL/CELの影響（2022年度第1四半期は+1,100万ユーロ、2021年度第1四半期は+100万ユーロ）を含む

² PEL/CELの影響（2022年度第1四半期は+1,100万ユーロ、2021年度第1四半期は+100万ユーロ）を含む



BNLバンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL bcの当四半期の事業活動は堅調でした。融資残高は前年同期比2.1%増、不良債権を除くと同4.4%増でした。預金残高は前年同期比8.5%増で、顧客セグメント全てで伸びています。オフバランス貯蓄商品は2021年3月末比3.9%増で、主に生命保険保有契約高の好調な伸び(同+6.6%)に牽引されました。プライベート・バンキングへの資金純流入も9億ユーロと極めて堅調でした。

BNL bcはオペレーティングモデル革変の一環として、特定のITアクティビティの外部委託へ第一歩を踏み出しており、これにより、デジタルトランスフォーメーションの加速、サービスの質の改善、コストの可変化を進めています。

営業収益¹は、連結範囲の変更による影響を含めると当四半期は前年同期比3.1%減、連結範囲の変更による影響を除くと同1.9%減でした。純利息収入¹は4.3%減でした。低金利環境によるマイナス影響によるもので、融資残高の増加によるプラス効果は一部相殺に留まりました。手数料収入¹は連結範囲の変更による影響を含めると1.4%減でしたが、連結範囲の変更による影響を除くと1.6%増でした。銀行手数料は増加し、特に法人顧客で顕著でした。

営業費用¹は当四半期は4億5,400万ユーロで、連結範囲の変更による影響を含めると前年同期比1.0%減、連結範囲の変更による影響を除くと同0.8%増でした。IFRIC 21「賦課金」を除くと、主に事業適応策(イタリアの年金改革「クオータ100」を活用した早期退職制度を含む)の効果により、営業費用は2.5%減少しています。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に2億100万ユーロとなり、前年同期比7.6%減でした

リスク費用¹は、当四半期は1億2,800万ユーロでした(顧客向け融資残高の63bp相当)。債務不履行件数はごく限られており、正常債権(ステージ1と2)の引当解除も小幅ありましたが、前年同期比1,800万ユーロ増でした。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(インベストメント&プロテクションサービス部門)へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当四半期に6,500万ユーロとなり、前年同期比33.8%減でした。

¹ イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む



ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBB)

CPBBの当四半期の事業活動は増加し、bpost bankを2022年1月1日付けで統合した好影響を反映しました。融資残高は前年同期比13.5%増え（連結範囲の変更による影響を除くと+6.4%）、個人向け貸出（特に住宅ローン）と法人向け貸出の伸びが寄与しました。預金残高は、連結範囲の変更による影響を含めると前年同期比10.5%増、連結範囲の変更による影響を除くと同2.4%増でした。オフバランス貯蓄商品は2021年3月末比4.1%増で、プライベート・バンキングには11億ユーロに上る資金純流入が見られました。

CPBBは当四半期にbpost bankを統合し、bpost¹と7年間の独占提携を結ぶなど、リテールバンキングを重視するオペレーティングモデルの改良を続けており、サービスの価値や質の改善、コスト可変性の向上を図っています。

営業収益²は当四半期に9億3,500万ユーロとなり、連結範囲の変更による影響を含めると前年同期比8.9%増、連結範囲の変更による影響を除くと同4.7%増でした。純利息収入²は連結範囲の変更による影響を含めると前年同期比8.1%増で（連結範囲の変更による影響を除くと+2.1%）、融資の伸びに加え専門的金融事業を手掛ける子会社の寄与が押し上げに貢献しました。手数料収入²は前年同期比10.6%増え、顧客セグメント全てで増加しています。

営業費用²は当四半期に9億500万ユーロとなり、連結範囲の変更による影響を含めると前年同期比7.1%増でした。一方、連結範囲の変更による影響を除いた場合、コスト節減策に加え、支店網の最適化策の継続も奏功し、同1.6%増に留まっています。ジョーズ効果は正でした（連結範囲の変更による影響を含めると+1.8ポイント、連結範囲の変更による影響を除くと+3.1ポイント）。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期に3,000万ユーロに上り、前年同期（1,400万ユーロ）比で大幅増益でした。

リスク費用²は、当四半期に不良債権（ステージ3）と正常債権（ステージ1と2）の引当解除を行い、前年同期比で1,700万ユーロ削減しています。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、CPBBの税引前利益は当四半期に4,200万ユーロとなりました。前年同期（4,500万ユーロの損失）比で改善していますが、IFRIC 21「配賦金」（-3億6,900万ユーロ）が大きく響きました。

¹ 関係当局の承認を要する

² ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む



ルクセンブルクの商業&個人向けバンキング (CPBL)

CPBLの当四半期の事業活動は極めて好調でした。融資残高は住宅ローンや法人向け貸出の増加により前年同期比7.3%増、預金残高は同6.7%増、オフバランス貯蓄商品は2021年3月末比3.1%増でした。

営業収益¹は、当四半期は1億1,500万ユーロ、前年同期比14.1%増でした。純利息収入¹は取引高の増加や利鞘の改善で押し上げられ、8.8%増と高い伸びでした。手数料収入¹は全般的な増加が見られ、特に決済手数料が貢献し、36.1%増と急増しています。

営業費用¹は、当四半期は事業開発の支援で嵩み8,000万ユーロ、前年同期比1.9%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準でした (+12.2ポイント)。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に3,500万ユーロとなり、前年同期比58.0%増の大幅増益でした。

リスク費用¹は500万ユーロの引当解除 (前年同期は100万ユーロ) に伴い低水準でした。

以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業 (インベストメント&プロテクションサービス部門) へ配分した後、CPBLは当四半期に税引前利益4,000万ユーロを生み出しました (前年同期は2,100万ユーロ)。

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国の事業活動は引き続き好調でした。融資残高は前年同期比16.6%増² でした。ポーランドとトルコの顧客セグメント全てで力強く伸び、特に法人顧客で高い伸びがみられました。ローン組成のモメンタムは極めて良好で (前年同期比+64%³)、中でも法人向けが加速しています (同+85%³)。預金残高はポーランドとトルコの増加が牽引し、前年同期比18.1%増² でした。また、デジタル顧客の急増も見られました (2021年3月末比+15%)。

欧州・地中海沿岸諸国の営業収益⁴は、当四半期は6億3,900万ユーロ、前年同期比46.0%増²の大幅増収でした。トルコで生じた非経常的項目がプラスの影響をもたらしました。純利息収入⁴は取引高の増加や金利環境の改善により急増しています。手数料収入⁴の伸びは堅調で (2021年度第1四半期比+21%²)、2019年度の水準を大きく上回りました (2019年度第1四半期比+26%²)。

営業費用⁴は、高水準の賃金ドリフトにより、当四半期は4億2,200万ユーロ、前年同期比11.6%増² でした。ジョーズ効果は極めて高水準でした (+34.4ポイント²)。

これらを受けて、営業総利益⁴は当四半期に2億1,700万ユーロに達し、前年同期比2.7倍に上りました。

リスク費用⁴は3,900万ユーロと前年同期比横ばい、顧客向け融資残高の43bp相当でした。正常債権 (ステージ1と2) の引当増にもかかわらず、低位に維持しています。

以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業 (インベストメント&プロテクションサービス部門) へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国事業の税引前利益⁵は当四半期に2億4,500万ユーロに達し、前年同期の水準⁶の3倍でした。関連会社の力強い寄与が貢献しました。

¹ ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ 為替レート変動による影響を除き、トルコ、ポーランド、ウクライナ、モロッコにおける融資を含む

⁴ トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキングの100%を含む

⁵ トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキングの3分の2を含む

⁶ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く



バンクウエスト

バンクウエストは高水準の事業活動を維持しました。ローン組成は大幅に伸び（前年同期比+26.7%¹）、とりわけ住宅ローンの組成が好調で、有担保設備ローンの伸びも堅調でした。ただし、融資残高は前年同期比4.7%減²で、健康危機関連の支援措置の終了や2020年の事業休止の影響を被りました。預金残高は前年同期比3.2%増²、顧客預金³が順調に伸びています。プライベート・バンキング業務の運用資産残高は、2022年3月末時点で192億ドルに上り、2021年3月末比で10.7%増加²しています。なお、2021年12月20日、当グループは米国子会社Bank of the WestをBMO Financial Groupへ売却することを発表しました。取引完了は2022年後半を予定しています⁴。

バンクウエストの営業収益⁵は、当四半期は6億1,900万ユーロ、前年同期比7.9%減²でした。前年同期に非経常的項目がプラスに作用したことによる減収で、この影響を除くと主に取引高や銀行手数料の増加により前年同期比0.9%増の増収²でした。

営業費用⁵は目標を絞ったプロジェクトに伴って膨らみ、当四半期は4億7,500万ユーロ、前年同期比8.3%増²でした。

これらを受けて、営業総利益⁵は当四半期は1億4,400万ユーロ、前年同期比33.2%減²でした。

リスク費用⁵は、1億9,400万ユーロの多額の引当解除を行い、当四半期は前年同期比1億8,700万ユーロの削減となりました。健康危機に関連した正常債権（ステージ1と2）の引当を解除し、不良債権の引当解除も小幅行っています。

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後、バンクウエストの税引前利益⁶は当四半期に3億3,000万ユーロに上り、前年同期比41.1%増²でした。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除き、「ペイチェック・プロテクション・プログラム」の融資分を除く

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ 財務活動に関わる預金を除く

⁴ 通常の条件に準ずる（関係規制当局や独占禁止法規制当局による承認を含む）。2021年12月20日付けプレスリリースを参照されたい。

⁵ 米国プライベート・バンキングの100%を含む

⁶ 米国プライベート・バンキングの3分の2を含む



専門的金融事業—パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスの当四半期の事業活動は順調でした。ローン組成は増加し（前年同期比+10.8%¹）、自動車セグメントではやや不調だったものの四半期終盤のモメンタムは良好でした（同+5.7%¹）。融資平均残高は前年同期比1.9%増²で、この中にはFloaの融資残高の50%（6億ユーロ）が2022年2月1日付けに含まれています。融資残高は、Floa連結に伴う融資残高の増加を除いても2019年度第1四半期を上回っています。

パーソナル・ファイナンスは当四半期にシナジー効果の高い戦略的発展を複数実現しています。この中には、Stellantis社との最終合意の署名（実施は2023年度第1四半期を予定）、Floa買収の完了に伴う事業拡大が含まれています。

パーソナル・ファイナンスの営業収益は当四半期に13億8,800万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比4.2%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同2.0%増でした。取引高の増加やローン組成の堅調な伸びが寄与しました。

営業費用は事業開発の支援に伴って膨らみ、当四半期は7億7,600万ユーロと連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比3.4%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同1.5%増でした。ジョーズ効果はポジティブでした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると+0.9ポイント）。

これらを受けて、営業総利益は当四半期は6億1,200万ユーロ、前年同期比5.4%増でした。

リスク費用は当四半期は3億1,500万ユーロと前年同期を600万ユーロ下回り、顧客向け融資残高の134bp相当と低位でした。正常債権（ステージ1と2）の引当を行いました。不良債権の低水準の引当で相殺しています。

以上から、パーソナル・ファイナンスの当四半期の税引前利益は3億1,200万ユーロ、前年同期比12.5%増でした。

専門的金融事業—アルバルとリーシング・ソリューションズ

アルバルとリーシング・ソリューションズの当四半期の事業活動は極めて好調でした。

アルバルのファイナンスフリートの契約台数は150万台³に上り（前年同期比+6.5%³）、中古車価格は特に高水準に達しました。アルバルの業績に有利に寄与したのは営業収益の分布で、バリューチェーン全体に及ぶプレゼンスが奏功し、構造的に安定しています。アルバルはコストを抑制しつつ成長しており、生産性を2025年までに30%改善することを目指しています。

リーシング・ソリューションズのファイナンスリース残高は前年同期比4.3%増⁴でした。事業活動の好調は続き、特に物流関連機器で堅調でした。リーシング・ソリューションズは確固たる地位を築いており⁵、特にフランス（市場シェア15%）、イタリアとベルギー（同21%）で強固です。

アルバルとリーシング・ソリューションズの営業収益は、当四半期は8億1,100万ユーロに上り、前年同期比27.0%増でした。アルバルの好業績（高水準の中古車価格が貢献）に加え、両事業の契約残高の高い伸びも増収につながりました。営業費用は3億6,600万ユーロ、前年同期比8.4%増で、低コストで成長できる力や生産性の向上がプラス要因です。ジョーズ効果は極めて高水準でした（+18.6ポイント）。

¹ Floaを除く

² Floaを除くと+1.2%

³ 平均フリート台数（千台）

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

⁵ フランスは2021年のデータ、イタリアとベルギーは2020年のデータ。BNP Paribas Leasing Solutions の機器リースの市場シェア推定値。



アルバルとリーシング・ソリューションズの営業総利益は当四半期に4億4,500万ユーロに上り、前年同期比47.9%増の急増でした。

両事業の税引前利益は、当四半期は合計4億1,900万ユーロとなり、前年同期比54.9%増の増益を果たしました。

専門的金融事業—ニューデジタル事業 (Nickel、Floa、Lyf) と個人投資家事業

ニューデジタル事業と個人投資家事業は全体的に好調でした。

Nickelは新世代決済を提供してフランスやスペインで躍進を続け、2022年3月末時点の口座開設数は約260万に上り¹、2021年3月末比26.6%増を記録し、販売店は7,200カ所を超えています¹。

当グループはフランスの後払い決済最大手Floaの買収を2022年1月31日に完了しています。Floaの顧客は当四半期に370万人に上り（2021年3月末比+21.7%）、ローン組成は急拡大しており（前年同期比+21%）、業績の50%はニューデジタル事業に連結されています。

個人投資家事業では運用資産が前年同期比11.3%増え、顧客数は同8.6%増加しています。

ニューデジタル事業と個人投資家事業の営業収益²は、当四半期は2億500万ユーロ、前年同期比1.2%増でした。ニューデジタル事業では、Nickelの力強い躍進が続いたことやFloaの連結寄与により、営業収益は前年同期比で倍増以上となりました。個人投資家事業の営業収益は前年同期に比べて高水準で正常化しています。営業費用²は両事業の急成長に伴って嵩み、当四半期は合計1億3,200万ユーロ、前年同期比11.3%増でした。ニューデジタル事業のジョーズ効果は極めて高水準でした（+74.3ポイント）。

これらを受けて、両事業の営業総利益²は当四半期に7,300万ユーロとなり、前年同期比13.0%減でした。

リスク費用²は、当四半期は1,200万ユーロでした（前年同期は200万ユーロ）。Floaの50%を2022年2月1日付けで連結しています。

以上から、ニューデジタル事業と個人投資家事業の当四半期の税引前利益³は5,800万ユーロと前年同期比26.6%減でした。

*
* *

¹ フランスとスペインで設定来

² ドイツ国内プライベート・バンキングの100%を含む

³ ドイツ国内プライベート・バンキングの3分の2を含む



インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門

IPS部門の当四半期の事業活動は全体的に好調でしたが、営業収益は不利な市場環境の煽りを受けました。資金流入は純流入を維持しました。保険事業とウェルス・マネジメント事業の資金純流入は旺盛でしたが、アセット・マネジメント事業で四半期後半に生じた資金純流出（特に市場動向に即してマネー・マーケット・ファンドから流出）で一部相殺されました。

IPS部門は戦略プランを推進しています。オランダではDynamic Credit Group買収を完了し、プライベートデットの拡大を図っています。また、提携の推進も継続し、特に保険事業でCoppel（メキシコ第2位の小売大手。顧客1,400万人を擁する銀行を含む）と保障で長期契約を結びました。また、特にアセット・マネジメント事業において、環境・社会・ガバナンス（ESG）戦略の実行を継続しました。

IPS部門の営業収益は当四半期は16億5,000万ユーロでした。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比0.2%の小幅減収ですが、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同0.8%の増収です。保険事業の営業収益は不利な市場環境により減少しましたが、事業活動は増加しています。ウェルス&アセット・マネジメント事業の各業務はいずれも増収でした。

営業費用は当四半期は10億5,100万ユーロでした。目標を絞った取り組みの支援で嵩み、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比3.6%増でした。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に5億9,900万ユーロとなり、前年同期比6.0%減でした。

IPS部門の税引前利益は当四半期に6億8,300万ユーロとなり、高水準だった前年同期比11.7%減でした。減益はBNPパリバ・アセットマネジメントが保有していた持分を売却したことによるもので、この持分売却の影響を除けば小幅増益です。

IPS部門の運用資産残高¹は2022年3月末現在1兆2,440億ユーロで、2021年3月末比では6.0%増ながら2021年12月末比では2.6%減でした。昨年末比で減少した主因は市場動向で生じた不利な影響で（-5,370億ユーロ）、その一部は有利な為替レート変動の影響（+108億ユーロ）と有利な連結範囲変更の影響（+103億ユーロ）で相殺されました。有利な連結範囲変更は、主にオランダのDynamic Credit Groupの買収完了とインドでの新たな提携です。当四半期の資金純流入総額は多額ではありません。ウェルス・マネジメント事業への資金純流入は順調で、特に欧州のコマーシャル&個人向けバンキング市場で顕著でした。保険事業の資金純流入は高水準で、特にユニットリンク保険が好調で、アジア、フランス、ルクセンブルクで資金流入が旺盛でした。アセット・マネジメント事業は特に四半期後半に市場動向に即してマネー・マーケット・ファンドで資金純流出を記録しました。

運用資産残高¹の2022年3月末現在の内訳は、アセット・マネジメント事業（Real Estate Investment Managementの300億ユーロ、プリンシパル・インベストメントの10億ユーロを含む）は5,530億ユーロ、ウェルス・マネジメント事業が4,210億ユーロ、保険事業は2,700億ユーロでした。

保険事業の事業活動は引き続き堅調でした。貯蓄型保険はフランス国内外ともに高実績を維持し、資金流入は急増し（前年同期比20%超の増加）、ユニットリンク保険が資金純流入の大半を占めました。保障保険の販売はフランス国内で伸びを続け、とりわけ人身傷害補償保険や損害保険が好調で（Cardif IARD）、国際的にも特に南米とアジアで堅調でした。

保険事業の営業収益は、当四半期は7億2,100万ユーロ、前年同期比8.9%減でした。市場の落ち込みに伴う特定の会計上の影響による減収であり、この影響を除けば大幅増収です。営業費用は目標を絞ったプロジェクトの推進に伴って膨らみ、当四半期は3億8,400万ユーロ、前年同期比0.4%増でした。税引前利益は3億7,300万ユーロ、前年同期比15.6%減でした。

¹ 分配金を含む



ウェルス&アセット・マネジメント事業¹の業績は極めて良好でした。ウェルス・マネジメント事業では好調な資金純流入が見られ（特に欧州のリテールバンキング業務）、金融手数料も高水準で、業績は上向いています。アセット・マネジメント事業では、市況が極めて堅調だった2021年度第4四半期の後だけに、マネー・マーケット・ファンドの解約により資金流出を記録しました。一方、事業分野は拡大を続け、オランダの住宅ローン大手Dynamic Credit Groupの買収完了に伴い、プライベートデットとリアルアセットの運用資産は200億ユーロを超えています。不動産管理事業の回復は続いており、特にフランスやドイツのアドバイザリー業務の復調は顕著です。

ウェルス&アセット・マネジメント事業¹の営業収益は、当四半期は9億2,900万ユーロ、前年同期比7.9%増で、全業務が増収でした。ウェルス・マネジメント事業では金融手数料の伸びが増収要因となり、アセット・マネジメント事業では高水準の運用資産が増収に貢献し、プリンシパル・インベストメンツと不動産管理事業（特にアドバイザリー業務）の営業収益も増加しています。営業費用は全業務の事業活動の伸びに伴って膨らみ、当四半期は6億6,700万ユーロ、前年同期比5.5%増でした。アセット・マネジメント事業の営業費用は比較的低位でした。ジョーズ効果は良好でした（+2.4ポイント）。以上から、ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は、当四半期は3億1,000万ユーロ、前年同期比6.6%減でした。減益の要因はBNPパリバ・アセットマネジメントが前年同期に合弁事業を売却したため、この要因がなければ税引前利益は前年同期比31.6%増でした。

*
* *

コーポレート・センター

コーポレート・センターの連結範囲にはもはやプリンシパル・インベストメンツは含まれておらず、インベストメント&プロテクション サービス（IPS）部門に連結されています。

コーポレート・センターの営業収益は、当四半期は6,600万ユーロと前年同期（2億4,300万ユーロ）を下回りました。前年同期の営業収益には、インドのSBI Life株4.99%の売却による譲渡益（+5,800万ユーロ）が計上されていました。当四半期の営業収益には、デリバティブに含まれる信用リスク再評価の影響（9,300万ユーロ）や非経常的項目のマイナス影響が含まれています。

営業費用は、当四半期は5億1,100万ユーロでした（前年同期は2億4,400万ユーロ）。当四半期の営業費用には、IFRIC 21「賦課金」の増加に加え、一時項目として、事業再編費用²と事業適応費用³が2,600万ユーロ（前年同期は5,800万ユーロ）、IT強化費用が4,900万ユーロ（同1,900万ユーロ）含まれています。

リスク費用は、当四半期は5,400万ユーロで、前年同期比横ばいでした。

他の営業外項目は、当四半期に4,300万ユーロの損失となりました（前年同期は2億9,200万ユーロの利益）。当四半期の営業外項目には、Ukrsibbankの証券の減損（-1億5,900万ユーロ）、為替差損益⁴の再分類に伴うマイナス影響（-2億7,400万ユーロ）が含まれ、この一部はbpost bankの負ののれんから生じたプラス影響（+2億4,400万ユーロ）、持分売却による譲渡益（+2億400万ユーロ）で相殺されました。前年同期の営業外項目には、建物売却による譲渡益3億200万ユーロが含まれていました。

以上から、コーポレート・センターの当四半期の税引前損益は5億1,900万ユーロの損失でした（前年同期は2億5,700万ユーロの利益）。

¹ アセット・マネジメント、ウェルス・マネジメント、不動産管理、プリンシパル・インベストメンツ

² 特に特定の事業（とりわけCIB部門）の中止・再編に関連

³ 特にCIB部門、CPBS部門、ウェルス・マネジメント事業に関連

⁴ 従来は連結持分の控除に計上



財務構造

当グループの財務構造は盤石です。

普通株式等Tier 1比率は2022年3月末現在12.4%¹で、2021年12月末の水準から50bp低下しました。この主因は以下の通りです。

- 当四半期の純利益を剰余金に計上（配当性向60%とリスクアセットのオーガニック成長を考慮後）：0bp
- リスクアセットの伸び加速の影響とボルトオン買収（Floaとbpost bankの合併）による連結範囲変更の影響：-10bp
- 2月末～3月にボラティリティが上昇しカウンターパーティリスクに及ぼした影響、2022年3月末時点の市場価格がその他の包括利益に及ぼした影響、為替レート変動による影響：-10bp
- モデルの更新と規制の影響²：-30 bp

他の要因が普通株式等Tier1比率に及ぼした影響は全体として限定的でした。

レバレッジ比率³は、2022年3月末現在3.8%でした。

即時利用可能な剰余資金は2022年3月末現在で4,680億ユーロに上りました。これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。

*
* *

¹ 資本要求指令4（CRD4）：国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む

² 特に内部格付手法（IRB）の修正や為替の構造持高に関する新たなリスク規制

³ ECBの2021年6月18日の決定によって認定されたユーロ中央銀行制度（ユーロシステム）への預金関連の一時的免除を選択せず、規則（EU）2019/876に従って算定



2022～2025年戦略プラン

Growth, Technology & Sustainability 2025

2022年2月8日、当グループは「2025年戦略プラン」の概要、優先事項、業績目標を公表しています。

その「テクノロジー」と「サステナビリティ」に関連するプロジェクトやイニシアチブを詳しくご説明するため、2022年3月14日にプレゼンテーションを予定しておりましたが、ウクライナに対する軍事侵攻の重大性や人道的影響を踏まえ、延期を同月9日に発表いたしました。

この2つの戦略的に重要な柱は、2022年度第1四半期決算と共に、2022年5月3日にご提示しています。詳細は弊社ウェブサイト<https://invest.bnpparibas.com>でご覧いただけます。

当グループは2022～2025年の業績目標として以下を掲げています。

- 営業収益の伸びの平均を年3.5%超¹。ジョーズ効果の平均を+2ポイント超²。
- 純利益の伸びの平均を年7%超。有形自己資本利益率（ROTE）を2025年に11%超（バーゼル3最終化（CRR3）の全面的影響を含む）。普通株式等Tier 1比率を2024年に12.9%、2025年に12%（CRR3の全面的影響を含む）³。
- 普通配当の配当性向60%（現金配当の配当性向50%以上）⁴

上記目標は米国子会社Bank of the Westによる業績寄与が終了してもグループ傘下に適用され続けます。

¹ 営業収益の2021～2025年度のCAGR

² 営業収益の2021～2025年度CAGRから営業費用の2021～2025年度CAGRを差し引く

³ 有形自己資本利益率（ROTE）については、自己資本比率規制バーゼル3最終化（CRR3）の全面的影響を含めた数値。普通株式等Tier 1比率については、既知の規制上の制約とバーゼル3最終化（CRR3）の全面的影響に基づく推移で、当グループは2025年のリスクアセットの8%と推定。

⁴ 年次株主総会の承認を要する



IFRS 第5号適用 – 比較表 (未監査)

BNPパリバ・グループは2021年12月20日、カナダの金融大手BMO Financial Groupとバンクウェストが運営する米国商業銀行事業すべてを売却することについて合意したと発表しました。当該取引の条件は、当グループが売却目的で保有する資産・負債に関してIFRS第5号の適用範囲に該当するため（注記7.d「2021年12月31日付け連結財務諸表の非継続事業」参照）、2020年度通期については「非継続事業の純利益」を個別に修正再表示することが必要となります。

特段の記載がない限り、この発表の財務情報・項目は、業務見通しを反映するバンクウェスト関連事業を含みます。したがって同財務情報・項目は、売却目的で保有する非流動資産・負債に関連するIFRS第5号適用の影響を反映することはありません。本プレスリリースでは、下記の通り、IFRS第5号を非適用とした業務見通しと、IFRS第5号を適用した連結財務諸表を比較しています。

2022年度第1四半期の連結損益計算書—IFRS第5号比較表



BNP PARIBAS

BNPパリバの損益計算書 – 2022年度第1四半期

IFRS第5号適用

(単位: 百万ユーロ)	2022年度第1四半期 IFRS第5号適用前	2022年度第1四半期 IFRS第5号の影響	2022年度第1四半期 IFRS第5号適用後	2021年度第1四半期 IFRS第5号適用前	2021年度第1四半期 IFRS第5号の影響	2021年度第1四半期 IFRS第5号適用後 修正再表示
受取利息純額	5,734	(515)	5,219	5,452	(479)	4,973
受取手数料純額	2,637	(94)	2,543	2,555	(75)	2,480
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の純益	3,152	(9)	3,143	2,047	(23)	2,024
株式を通じて公正価値で測定する金融資産の純益	8	(16)	(8)	37	(18)	19
償却原価で測定する認識されない金融資産の純益	-	-	-	51	(37)	14
保険事業の純利益	1,093	-	1,093	1,204	-	1,204
その他事業の純利益	594	(8)	586	483	(6)	477
営業収益	13,218	(642)	12,576	11,829	(638)	11,191
従業員給与および従業員給付制度に関わる費用	(4,799)	271	(4,528)	(4,323)	238	(4,085)
その他営業費用	(4,234)	146	(4,088)	(3,680)	113	(3,567)
有形固定資産・無形固定資産の減価償却費、償却費、減損	(620)	40	(580)	(594)	38	(556)
営業総利益	3,565	(185)	3,380	3,232	(249)	2,983
リスク費用	(456)	(193)	(649)	(896)	(6)	(902)
営業利益	3,109	(378)	2,731	2,336	(255)	2,081
持分法適用会社投資損益	165	-	165	124	-	124
非流動資産純益	(244)	-	(244)	363	(1)	362
のれん	247	-	247	-	-	-
税引前利益	3,277	(378)	2,899	2,823	(256)	2,567
法人税	(1,047)	149	(898)	(969)	53	(916)
非継続事業の純利益		229	229		203	203
少数株主帰属純利益	122	-	122	86	-	86
株主帰属純利益	2,108	-	2,108	1,768	-	1,768



連結貸借対照表－2022年3月31日現在－IFRS第5号比較表



BNP PARIBAS

BNPパリバの連結貸借対照表－2022年3月31日現在

IFRS第5号適用

(単位：百万ユーロ)	2022年3月31日現在 IFRS第5号適用前	IFRS第5号の影響	2022年3月31日現在 IFRS第5号適用後	2021年12月31日現在 IFRS第5号適用後
資産				
預金および中央銀行預け金	377,873	(5,032)	372,841	347,883
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産				
トレーディング目的有価証券	248,258	(633)	247,625	191,507
貸出金および売戻契約	295,217	(45)	295,172	249,808
デリバティブ金融商品	283,413	(195)	283,218	240,423
ヘッジ目的デリバティブ	8,977	-	8,977	8,680
その他の包括利益を通じ公正価値で測定する金融資産				
負債性金融商品	44,372	(5,185)	39,187	38,906
資本性金融商品	2,726	-	2,726	2,558
償却原価で測定する金融資産				
金融機関貸出金および債権	37,663	(140)	37,523	21,751
顧客貸出金および債権	890,973	(52,008)	838,965	814,000
負債性金融商品	134,958	(17,243)	117,715	108,510
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(313)	-	(313)	3,005
保険事業に係る金融商品	269,689	-	269,689	280,766
当期および繰延税金資産	6,042	(278)	5,764	5,866
未収収益およびその他の資産	206,778	(1,554)	205,224	179,123
持分法適用会社投資	6,746	-	6,746	6,528
有形固定資産および投資不動産	35,783	(435)	35,348	35,083
無形固定資産	3,912	(238)	3,674	3,659
のれん	7,769	(2,605)	5,164	5,121
売却目的保有資産	-	85,591	85,591	91,267
資産合計	2,860,836	-	2,860,836	2,634,444
負債				
中央銀行預金	4,122	-	4,122	1,244
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債				
トレーディング目的有価証券	137,141	-	137,141	112,338
預金および買戻契約	341,412	-	341,412	293,456
負債証券	69,601	-	69,601	70,383
デリバティブ金融商品	264,957	(266)	264,691	237,397
ヘッジ目的デリバティブ	17,986	(165)	17,821	10,076
償却原価で測定する金融負債				
金融機関預金	199,880	(318)	199,562	165,699
顧客預金	1,080,727	(71,521)	1,009,206	957,684
負債性金融商品	164,169	(218)	163,951	149,723
劣後債	25,525	-	25,525	24,720
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(6,803)	-	(6,803)	1,367
当期および繰延税金負債	3,195	(38)	3,157	3,103
未払費用およびその他の負債	179,628	(836)	178,792	145,399
保険会社の責任準備金	245,647	-	245,647	254,795
偶発債務等引当金	10,016	(161)	9,855	10,187
売却目的保有資産関連負債	-	73,523	73,523	74,366
負債合計	2,737,203	-	2,737,203	2,511,937
連結資本				
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	116,589	-	116,589	108,176
親会社株主帰属当期純利益	2,108	-	2,108	9,488
資本金、払込剰余金、利益剰余金、および親会社株主帰属当期純利益合計	118,697	-	118,697	117,664
資本に直接認識される資産および負債の変動	353	-	353	222
親会社株主資本	119,050	-	119,050	117,886
少数株主資本	4,583	-	4,583	4,621
連結資本合計	123,633	-	123,633	122,507
負債および連結資本合計	2,860,836	-	2,860,836	2,634,444



連結損益計算書

	1Q22	1Q21	1Q22 / 1Q21	4Q21	1Q22 / 4Q21
(単位：百万ユーロ)					
グループ					
営業収益	13,218	11,829	+11.7%	11,232	+17.7%
うち受取利息	5,734	5,452	5.2%	5,169	10.9%
うち手数料	2,637	2,555	3.2%	2,919	-9.7%
営業費用および減価償却費	-9,653	-8,597	+12.3%	-7,930	+21.7%
営業総利益	3,565	3,232	+10.3%	3,302	+8.0%
リスク費用	-456	-896	-49.1%	-510	-10.6%
営業利益	3,109	2,336	+33.1%	2,792	+11.4%
持分法適用会社投資損益	165	124	+33.2%	138	+19.6%
その他の営業外項目	3	363	-99.2%	240	-98.8%
営業外項目	168	487	-65.5%	378	-55.6%
税引前利益	3,277	2,823	+16.1%	3,170	+3.4%
法人税	-1,047	-969	+8.0%	-759	+37.9%
少数株主帰属純利益	-122	-86	+41.8%	-105	+16.2%
株主帰属純利益	2,108	1,768	+19.2%	2,306	-8.6%
コストインカム率	73.0%	72.7%	+0.3 pt	70.6%	+2.4 pt

BNPパリバの2022年度第1四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリースおよびプレゼンテーションに含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類（universal registration document）を含めて、<http://invest.bnpparibas.com>の「Results（業績）」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典L.451-1-2条およびフランス金融市場庁（Autorité des Marchés Financiers）の一般規則第222-1条以降の規定に従い、BNPパリバが公表しています。



2022年度第1四半期 – コア事業別業績

		コマーシャル& 個人向けバンキ ング サービス部 門 (プライベート・ バンキング の2/3)	インベストメ ント&プロテ クションサー ビス部門	ホールセール バンキング部 門	事業部門合計	その他業務	グループ 合計
(単位：百万ユーロ)							
営業収益		6,800	1,650	4,702	13,152	66	13,218
	対前年同期比	+8.6%	-0.2%	+28.1%	+13.5%	-73.0%	+11.7%
	対前四半期比	+7.4%	+0.6%	+44.1%	+17.0%	n.s.	+17.7%
営業費用および減価償却費		-4,738	-1,051	-3,353	-9,142	-511	-9,653
	対前年同期比	+5.2%	+3.6%	+18.3%	+9.4%	n.s.	+12.3%
	対前四半期比	+14.1%	-9.7%	+42.8%	+19.3%	+93.3%	+21.7%
営業総利益		2,062	599	1,349	4,010	-445	3,565
	対前年同期比	+17.3%	-6.0%	+61.4%	+24.1%	n.s.	+10.3%
	対前四半期比	-5.4%	+26.1%	+47.4%	+12.3%	+65.4%	+8.0%
リスク費用		-394	-7	-2	-402	-54	-456
	対前年同期比	-40.8%	+36.2%	-99.1%	-52.2%	+0.0%	-49.1%
	対前四半期比	-34.1%	n.s.	n.s.	-21.2%	n.s.	-10.6%
営業利益		1,669	592	1,347	3,608	-499	3,109
	対前年同期比	+52.5%	-6.4%	n.s.	+51.0%	n.s.	+33.1%
	対前四半期比	+5.4%	+22.8%	+35.4%	+17.9%	+85.6%	+11.4%
持分法適用会社投資損益		86	52	4	142	23	165
その他の営業外項目		6	39	1	46	-43	3
税引前利益		1,761	683	1,353	3,796	-519	3,277
	対前年同期比	+58.7%	-11.7%	+98.1%	+47.9%	n.s.	+16.1%
	対前四半期比	+6.8%	+27.1%	+34.9%	+19.1%	n.s.	+3.4%
(単位：百万ユーロ)							
営業収益		6,800	1,650	4,702	13,152	66	13,218
	前年同期	6,263	1,652	3,670	11,585	243	11,829
	前四半期	6,334	1,639	3,264	11,237	-5	11,232
営業費用および減価償却費		-4,738	-1,051	-3,353	-9,142	-511	-9,653
	前年同期	-4,504	-1,015	-2,834	-8,353	-244	-8,597
	前四半期	-4,153	-1,164	-2,348	-7,666	-264	-7,930
営業総利益		2,062	599	1,349	4,010	-445	3,565
	前年同期	1,759	638	836	3,232	0	3,232
	前四半期	2,181	475	915	3,571	-269	3,302
リスク費用		-394	-7	-2	-402	-54	-456
	前年同期	-665	-5	-172	-842	-54	-896
	前四半期	-597	7	80	-510	0	-510
営業利益		1,669	592	1,347	3,608	-499	3,109
	前年同期	1,094	633	664	2,390	-54	2,336
	前四半期	1,583	482	996	3,061	-269	2,792
持分法適用会社投資損益		86	52	4	142	23	165
	前年同期	51	44	9	104	20	124
	前四半期	70	57	6	134	4	138
その他の営業外項目		6	39	1	46	-43	3
	前年同期	-36	97	11	72	292	363
	前四半期	-5	-3	1	-7	247	240
税引前利益		1,761	683	1,353	3,796	-519	3,277
	前年同期	1,110	774	683	2,566	257	2,823
	前四半期	1,648	537	1,003	3,188	-18	3,170
法人税							-1,047
少数株主帰属純利益							-122
株主帰属純利益							2,108



連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
グループ					
営業収益	13,218	11,232	11,398	11,776	11,829
うち受取利息	5,734	5,169	5,218	5,370	5,452
うち手数料	2,637	2,919	2,603	2,640	2,555
営業費用および減価償却費	-9,653	-7,930	-7,412	-7,172	-8,597
営業総利益	3,565	3,302	3,986	4,604	3,232
リスク費用	-456	-510	-706	-813	-896
営業利益	3,109	2,792	3,280	3,791	2,336
持分法適用会社投資損益	165	138	131	101	124
その他の営業外項目	3	240	39	302	363
営業外項目	168	378	170	403	487
税引前利益	3,277	3,170	3,450	4,194	2,823
法人税	-1,047	-759	-836	-1,193	-969
少数株主帰属純利益	-122	-105	-111	-90	-86
株主帰属純利益	2,108	2,306	2,503	2,911	1,768
コストインカム率	73.0%	70.6%	65.0%	60.9%	72.7%
融資平均残高（十億ユーロ）	828.3	806.4	793.5	787.9	781.9
預金平均残高（十億ユーロ）	824.7	809.3	796.2	785.4	770.2
融資期初残高（十億ユーロ、リスク費用算定に使用）	903.8	883.0	873.9	866.8	846.9
リスク費用（年率、bp）	20	23	32	38	42



(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
コマース&個人向けバンキング サービス (CPBS) 部門 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベート・バンキングの100%を含む)¹					
営業収益	6,979	6,506	6,485	6,467	6,430
営業費用および減価償却費	-4,848	-4,252	-4,046	-4,001	-4,609
営業総利益	2,131	2,253	2,439	2,466	1,821
リスク費用	-401	-597	-639	-694	-668
営業利益	1,730	1,657	1,800	1,771	1,154
持分法適用会社投資損益	86	70	92	73	51
その他の営業外項目	6	-5	104	-10	-36
税引前利益	1,822	1,722	1,996	1,834	1,169
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-61	-74	-70	-71	-60
コマース&個人向けバンキング サービス部門税引前利益	1,761	1,648	1,926	1,763	1,110
コストインカム率	69.5%	65.4%	62.4%	61.9%	71.7%
融資平均残高 (十億ユーロ)	651	636	628	624	622
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	643	633	630	624	625
預金平均残高 (十億ユーロ)	634	624	612	600	586
リスク費用 (年率、bp)	25	38	41	44	43
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベート・バンキングの23を含む)	44.9	43.3	43.3	43.5	43.8
リスクアセット (十億ユーロ)	422.3	402.8	395.6	393.7	395.3
(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
コマース&個人向けバンキング サービス部門 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベート・バンキングの23を含む)					
営業収益	6,800	6,334	6,321	6,298	6,263
営業費用および減価償却費	-4,738	-4,153	-3,954	-3,912	-4,504
営業総利益	2,062	2,181	2,367	2,386	1,759
リスク費用	-394	-597	-638	-686	-665
営業利益	1,669	1,583	1,729	1,700	1,094
持分法適用会社投資損益	86	70	92	73	51
その他の営業外項目	6	-5	104	-10	-36
コマース&個人向けバンキング サービス部門税引前利益	1,761	1,648	1,926	1,763	1,110
コストインカム率	69.7%	65.6%	62.5%	62.1%	71.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	44.9	43.3	43.3	43.5	43.8
リスクアセット (十億ユーロ)	418.1	398.9	391.8	389.9	391.7
(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
コマース&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベート・バンキングの100%を含む)¹					
営業収益	4,575	4,318	4,379	4,297	4,257
うち受取利息純額	2,984	2,745	2,873	2,763	2,798
うち手数料	1,590	1,574	1,507	1,534	1,459
営業費用および減価償却費	-3,575	-3,071	-2,959	-2,861	-3,402
営業総利益	1,000	1,247	1,420	1,437	855
リスク費用	-43	-219	-280	-316	-313
営業利益	957	1,028	1,140	1,121	542
持分法適用会社投資損益	70	48	76	78	37
その他の営業外項目	6	-12	68	-1	-36
税引前利益	1,033	1,064	1,283	1,198	542
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-61	-73	-70	-71	-59
コマース&個人向けバンキング事業税引前利益	972	991	1,214	1,127	483
コストインカム率	78.1%	71.1%	67.6%	66.6%	79.9%
融資平均残高 (十億ユーロ)	510	496	491	486	486
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	525	517	512	508	508
預金平均残高 (十億ユーロ)	604	594	584	573	560
リスク費用 (年率、bp)	3	17	22	25	25
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベート・バンキングの23を含む)	33.5	32.0	31.9	32.0	32.4
リスクアセット (十億ユーロ)	315.5	300.5	294.9	291.9	291.3
(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
コマース&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベート・バンキングの23を含む)					
営業収益	4,398	4,149	4,217	4,131	4,092
営業費用および減価償却費	-3,466	-2,974	-2,868	-2,773	-3,299
営業総利益	932	1,174	1,349	1,358	793
リスク費用	-36	-219	-279	-308	-310
営業利益	896	955	1,070	1,050	483
持分法適用会社投資損益	70	48	76	78	37
その他の営業外項目	6	-12	68	-1	-37
コマース&個人向けバンキング事業税引前利益	972	991	1,214	1,127	483
コストインカム率	78.8%	71.7%	68.0%	67.1%	80.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	33.5	32.0	31.9	32.0	32.4
リスクアセット (十億ユーロ)	311.3	296.6	291.1	288.2	287.7

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)¹					
営業収益	3,317	3,243	3,280	3,246	3,116
うち受取利息純額	1,947	1,922	1,979	1,921	1,861
うち手数料	1,370	1,321	1,302	1,325	1,255
営業費用および減価償却費	-2,678	-2,220	-2,151	-2,061	-2,557
営業総利益	640	1,023	1,129	1,185	559
リスク費用	-198	-211	-288	-249	-281
営業利益	442	812	841	936	277
持分法適用会社投資損益	0	1	5	1	-3
その他の営業外項目	6	-15	60	3	3
税引前利益	448	799	906	940	278
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-50	-64	-63	-64	-50
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	397	735	843	876	228

コストインカム率	80.7%	68.5%	65.6%	63.5%	82.1%
融資平均残高 (十億ユーロ)	425	412	407	404	402
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	437	430	427	421	421
預金平均残高 (十億ユーロ)	492	481	473	465	456
リスク費用 (年率、bp)	18	20	27	24	27
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)	23.2	22.0	22.0	22.0	22.2
リスクアセット (十億ユーロ)	218.8	207.2	201.7	201.3	201.5

(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	3,164	3,096	3,138	3,099	2,971
営業費用および減価償却費	-2,583	-2,136	-2,073	-1,986	-2,465
営業総利益	582	960	1,065	1,113	506
リスク費用	-191	-212	-287	-241	-278
営業利益	391	748	778	872	227
持分法適用会社投資損益	0	1	5	1	-3
その他の営業外項目	6	-15	60	3	3
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	397	735	843	876	228

コストインカム率	81.6%	69.0%	66.1%	64.1%	83.0%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	23.2	22.0	22.0	22.0	22.2
リスクアセット (十億ユーロ)	214.7	203.4	198.0	197.6	197.9

(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランスのプライベート・バンキングの100%を含む)¹					
営業収益	1,613	1,608	1,574	1,607	1,481
うち受取利息純額	847	884	859	860	797
うち手数料	766	724	714	747	684
営業費用および減価償却費	-1,239	-1,178	-1,129	-1,075	-1,175
営業総利益	374	430	444	532	306
リスク費用	-93	-99	-115	-101	-125
営業利益	281	331	329	431	181
持分法適用会社投資損益	0	0	0	-2	0
その他の営業外項目	0	-15	54	0	0
税引前利益	282	316	383	429	181
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-31	-35	-34	-30	-28
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	250	280	349	399	153
コストインカム率	76.8%	73.3%	71.8%	66.9%	79.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	203	201	200	199	198
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	218	215	216	213	213
預金平均残高 (十億ユーロ)	240	241	237	231	226
リスク費用 (年率、bp)	17	19	21	19	24
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; フランスのプライベート・バンキングの2/3を含む)	10.6	10.6	10.7	10.8	10.8
リスクアセット (十億ユーロ)	103.2	98.0	96.4	97.1	99.6

PEL/CELに係る引当金に関する留意事項: 当該引当金は、フランス国内リテールバンキング事業収益において計上されているが、住宅財形貯蓄制度 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅財形貯蓄口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から全存続期間にわたり生じるリスクを考慮している。

(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
PEL/CELの影響 (フランスのプライベート・バンキングの100%)	11	6	3	19	1

(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランスのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	1,531	1,530	1,499	1,531	1,406
営業費用および減価償却費	-1,195	-1,136	-1,091	-1,036	-1,132
営業総利益	336	395	408	495	274
リスク費用	-86	-100	-113	-94	-121
営業利益	250	295	295	401	153
営業外項目	0	-15	54	-2	1
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	250	280	349	399	153
コストインカム率	78.0%	74.2%	72.8%	67.7%	80.5%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	10.6	10.6	10.7	10.8	10.8
リスクアセット (十億ユーロ)	100.4	95.5	93.9	94.6	97.2

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
BNLバンカ・コメルシアーレ (イタリアのプライベート・バンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	654	668	667	669	676
うち受取利息純額	380	370	385	387	398
うち手数料	274	298	282	283	278
営業費用および減価償却費	-454	-438	-449	-435	-458
営業総利益	201	230	218	235	217
リスク費用	-128	-143	-130	-105	-110
営業利益	73	87	88	130	107
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	0	0	0
税引前利益	73	87	88	130	107
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-8	-9	-8	-10	-9
イタリアのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	65	78	80	120	98
コスト/インカム率	69.3%	65.6%	67.3%	64.9%	67.9%
融資平均残高 (十億ユーロ)	79	78	77	76	77
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	82	80	78	77	79
預金平均残高 (十億ユーロ)	63	62	59	59	58
リスク費用 (年率、bp)	63	71	67	54	56
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; イタリアのプライベート・バンキングの2/3を含む)	5.9	5.3	5.3	5.3	5.5
リスクアセット (十億ユーロ)	49.8	49.1	49.2	48.2	47.7
(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
BNLバンカ・コメルシアーレ (イタリアのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	633	645	645	647	654
営業費用および減価償却費	-440	-424	-435	-422	-445
営業総利益	193	222	210	225	208
リスク費用	-128	-143	-130	-104	-110
営業利益	65	78	80	120	98
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	0	0	0
イタリアのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	65	78	80	120	98
コスト/インカム率	69.5%	65.7%	67.4%	65.2%	68.1%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.9	5.3	5.3	5.3	5.5
リスクアセット (十億ユーロ)	49.3	48.7	48.8	47.8	47.3
(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (ベルギーのプライベート・バンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	935	854	933	864	858
うち受取利息純額	632	581	649	589	585
うち手数料	303	273	284	275	274
営業費用および減価償却費	-905	-540	-511	-488	-845
営業総利益	30	314	422	376	14
リスク費用	17	28	-36	-45	-47
営業利益	47	342	386	331	-33
持分法適用会社投資損益	0	2	5	2	-3
その他の営業外項目	4	1	6	4	3
税引前利益	52	344	397	337	-33
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-10	-18	-20	-22	-12
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	42	326	377	315	-45
コスト/インカム率	96.8%	63.3%	54.8%	56.5%	98.4%
融資平均残高 (十億ユーロ)	131	120	119	116	115
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	125	122	120	118	118
預金平均残高 (十億ユーロ)	161	149	149	149	146
リスク費用 (年率、bp)	-6	-9	12	15	16
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ベルギーのプライベート・バンキングの2/3を含む)	5.9	5.3	5.2	5.2	5.2
リスクアセット (十億ユーロ)	58.4	53.1	49.4	49.1	47.5
(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (ベルギーのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	890	810	890	819	813
営業費用および減価償却費	-870	-514	-486	-466	-811
営業総利益	20	296	403	353	3
リスク費用	18	28	-37	-44	-48
営業利益	38	324	367	309	-45
持分法適用会社投資損益	0	2	5	2	-3
その他の営業外項目	4	1	6	4	3
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	42	326	377	315	-45
コスト/インカム率	97.8%	63.4%	54.7%	56.9%	99.7%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.9	5.3	5.2	5.2	5.2
リスクアセット (十億ユーロ)	57.6	52.4	48.7	48.4	46.8

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ルクセンブルクのコマースシャル&個人向けバンキング事業 (プライベート・バンキングの100%を含む)¹					
営業収益	115	113	107	106	101
うち受取利息純額	88	87	86	85	81
うち手数料	27	26	21	21	20
営業費用および減価償却費	-80	-64	-62	-64	-79
営業総利益	35	49	45	42	22
リスク費用	5	3	-7	1	1
営業利益	40	52	38	43	23
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	2	0	0	0	0
税引前利益	42	52	38	43	23
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-2	-2	-2	-1	-1
ルクセンブルクのコマースシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	40	50	37	42	21
コストインカム率	69.8%	56.3%	58.1%	60.2%	78.2%
融資平均残高 (十億ユーロ)	13	12	12	12	12
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	13	12	12	12	12
預金平均残高 (十億ユーロ)	29	29	28	27	27
リスク費用 (年率、bp)	-17	-10	23	-3	-2
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
リスクアセット (十億ユーロ)	7.5	6.8	6.6	6.8	6.7
(単位: 百万ユーロ)					
ルクセンブルクのコマースシャル&個人向けバンキング事業 (プライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	111	110	104	103	97
営業費用および減価償却費	-78	-62	-61	-62	-77
営業総利益	33	48	43	41	21
リスク費用	5	3	-7	1	1
営業利益	38	51	36	42	21
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	2	0	0	0	0
ルクセンブルクのコマースシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	40	50	37	42	21
コストインカム率	70.4%	56.5%	58.2%	60.4%	78.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
リスクアセット (十億ユーロ)	7.4	6.8	6.6	6.8	6.7
(単位: 百万ユーロ)					
他の国々のコマースシャル&個人向けバンキング事業 (ポーランド、トルコ、米国のプライベート・バンキングの100%を含む)¹					
営業収益	1,258	1,075	1,099	1,052	1,141
うち受取利息純額	1,037	822	894	842	938
うち手数料	221	253	205	209	204
営業費用および減価償却費	-897	-851	-808	-799	-845
営業総利益	361	224	291	252	297
リスク費用	154	-8	8	-67	-32
営業利益	515	216	299	185	265
持分法適用会社投資損益	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	0	2	8	-4	-40
税引前利益	585	265	378	258	265
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-10	-9	-7	-7	-9
他の国々のコマースシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	575	256	371	251	255
コストインカム率	71.3%	79.2%	73.5%	76.0%	74.0%
融資平均残高 (十億ユーロ)	85	84	83	83	84
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	87	87	86	87	87
預金平均残高 (十億ユーロ)	112	113	111	108	105
リスク費用 (年率、bp)	-71	4	-4	31	15
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ポーランド、トルコ、米国のプライベート・バンキングの2/3を含む)	10.3	10.0	10.0	10.0	10.2
リスクアセット (十億ユーロ)	96.8	93.4	93.2	90.7	89.8
(単位: 百万ユーロ)					
他の国々のコマースシャル&個人向けバンキング事業 (ポーランド、トルコ、米国のプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	1,234	1,053	1,080	1,032	1,122
営業費用および減価償却費	-883	-839	-795	-787	-834
営業総利益	351	214	284	245	288
リスク費用	154	-8	8	-67	-32
営業利益	505	207	292	178	255
持分法適用会社投資損益	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	0	2	8	-4	-40
他の国々のコマースシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	575	256	371	251	255
コストインカム率	71.6%	79.6%	73.7%	76.3%	74.3%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	10.3	10.0	10.0	10.0	10.2
リスクアセット (十億ユーロ)	96.7	93.2	93.1	90.6	89.8

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
欧州・地中海沿岸諸国事業 (ポーランドとトルコのプライベート・バンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	639	449	511	464	516
うち受取利息純額	518	320	401	349	399
うち手数料	121	129	109	115	117
営業費用および減価償却費	-422	-395	-383	-394	-435
営業総利益	217	54	128	71	82
リスク費用	-39	-32	-15	-58	-39
営業利益	178	22	113	12	43
持分法適用会社投資損益	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	0	-3	-1	-7	-41
税引前利益	248	65	183	82	41
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-3	-2	-1	-2	-3
欧州・地中海沿岸諸国事業税引前利益	245	63	182	80	39
コストインカム率					
融資平均残高 (十億ユーロ)	66.1%	87.9%	74.9%	84.8%	84.2%
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	34	34	35	34	34
預金平均残高 (十億ユーロ)	37	38	37	36	37
預金平均残高 (十億ユーロ)	40	41	41	40	39
リスク費用 (年率、bp)	43	34	17	65	42
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; ポーランドとトルコのプライベート・バンキングの2/3を含む)	5.1	5.0	5.0	5.0	5.1
リスクアセット (十億ユーロ)	48.4	46.5	47.6	45.9	44.5
(単位: 百万ユーロ)					
欧州・地中海沿岸諸国事業 (ポーランドとトルコのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	634	445	508	461	512
営業費用および減価償却費	-420	-393	-381	-392	-433
営業総利益	214	52	127	69	80
リスク費用	-39	-32	-15	-58	-39
営業利益	174	20	112	10	41
持分法適用会社投資損益	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	0	-3	-1	-7	-41
欧州・地中海沿岸諸国事業税引前利益	245	63	182	80	39
コストインカム率					
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	66.3%	88.3%	75.0%	85.1%	84.5%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.1	5.0	5.0	5.0	5.1
リスクアセット (十億ユーロ)	48.4	46.5	47.6	45.9	44.5
(単位: 百万ユーロ)					
バンクウェスト (米国プライベート・バンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	619	626	588	587	625
うち受取利息純額	519	502	493	493	538
うち手数料	100	124	96	94	87
営業費用および減価償却費	-475	-457	-425	-406	-410
営業総利益	144	169	163	182	215
リスク費用	194	24	23	-8	7
営業利益	337	194	186	173	222
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	6	9	3	2
税引前利益	337	199	195	176	223
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-7	-7	-6	-5	-7
バンクウェスト税引前利益	330	192	189	171	216
コストインカム率					
融資平均残高 (十億ユーロ)	76.8%	73.0%	72.3%	69.1%	65.6%
融資平均残高 (十億ユーロ)	51	50	49	49	50
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	51	49	49	51	50
預金平均残高 (十億ユーロ)	72	72	71	68	65
リスク費用 (年率、bp)	-153	-20	-19	7	-5
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; 米国のプライベート・バンキングの2/3を含む)	5.2	5.0	4.9	5.0	5.0
リスクアセット (十億ユーロ)	48.3	46.8	45.5	44.8	45.3
(単位: 百万ユーロ)					
バンクウェスト (米国プライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	600	608	572	571	609
営業費用および減価償却費	-463	-446	-415	-395	-401
営業総利益	137	162	157	176	208
リスク費用	194	24	23	-8	7
営業利益	331	187	180	168	215
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	6	9	3	2
バンクウェスト税引前利益	330	192	189	171	216
コストインカム率					
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	77.2%	73.3%	72.5%	69.1%	65.8%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.2	5.0	4.9	5.0	5.0
リスクアセット (十億ユーロ)	48.2	46.7	45.4	44.7	45.3

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
専門的金融事業 (パーソナル・ファイナンス、アルバルとリーシング・ソリューションズ、ニューデジタル事業と個人投資家事業—ドイツのプライベート・バンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	2,404	2,187	2,106	2,169	2,173
営業費用および減価償却費	-1,274	-1,181	-1,087	-1,141	-1,207
営業総利益	1,130	1,007	1,019	1,029	966
リスク費用	-357	-378	-359	-378	-354
営業利益	773	629	660	650	612
持分法適用会社投資損益	16	22	17	-4	15
その他の営業外項目	0	7	36	-9	1
税引前利益	789	658	712	637	627
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	-1	0	0	-1
専門的金融事業税引前利益	789	658	712	636	626
コスト/インカム率	53.0%	54.0%	51.6%	52.6%	55.5%
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	118	116	117	117	117
リスク費用 (年率、bp)	121	130	122	130	121
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ドイツのプライベート・バンキングの2/3を含む)	11.4	11.3	11.4	11.5	11.4
リスクアセット (十億ユーロ)	106.8	102.3	100.7	101.7	104.0
(単位: 百万ユーロ)					
パーソナル・ファイナンス					
営業収益	1,388	1,294	1,271	1,319	1,332
営業費用および減価償却費	-776	-710	-644	-700	-750
営業総利益	612	584	627	619	581
リスク費用	-315	-346	-303	-344	-321
営業利益	297	238	324	276	260
持分法適用会社投資損益	14	22	16	-2	16
その他の営業外項目	0	-2	36	-9	1
税引前利益	312	258	376	264	277
コスト/インカム率	55.9%	54.9%	50.7%	53.1%	56.4%
融資平均残高 (十億ユーロ)	93	91	90	91	91
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	94	93	94	93	93
リスク費用 (年率、bp)	134	150	130	147	138
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	7.7	7.7	7.8	7.8	7.8
リスクアセット (十億ユーロ)	72.4	69.5	68.4	70.0	71.5
(単位: 百万ユーロ)					
アルバルとリーシング・ソリューションズ					
営業収益	811	709	658	670	639
営業費用および減価償却費	-366	-328	-314	-319	-338
営業総利益	445	381	344	350	301
リスク費用	-30	-30	-54	-34	-32
営業利益	415	351	291	317	269
持分法適用会社投資損益	4	3	3	1	2
その他の営業外項目	0	0	0	0	0
税引前利益	419	353	293	317	271
コスト/インカム率	45.1%	46.2%	47.7%	47.7%	52.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	3.3	3.2	3.2	3.3	3.3
リスクアセット (十億ユーロ)	29.5	29.3	28.9	28.2	29.0
合計契約残高 (十億ユーロ)	48	47	46	46	45
ファイナンスフリート契約台数 (千台)	1,484	1,470	1,441	1,417	1,393
(単位: 百万ユーロ)					
ニューデジタル事業と個人投資家事業 (ドイツのプライベート・バンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	205	184	177	180	203
営業費用および減価償却費	-132	-143	-130	-122	-119
営業総利益	73	41	47	59	84
リスク費用	-12	-1	-1	-1	-2
営業利益	61	40	46	58	82
持分法適用会社投資損益	-3	-3	-2	-3	-3
その他の営業外項目	0	9	0	0	0
税引前利益	58	47	43	55	79
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	-1	0	0	-1
ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益	58	46	43	54	79
コスト/インカム率	64.4%	77.6%	73.4%	67.5%	58.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ドイツのプライベート・バンキングの2/3を含む)	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
リスクアセット (十億ユーロ)	4.9	3.5	3.4	3.4	3.5
個人投資家事業の融資平均残高 (十億ユーロ)	1	1	1	1	1
個人投資家事業の預金平均残高 (十億ユーロ)	30	30	28	27	26
個人投資家事業の運用資産残高 (十億ユーロ)	162	163	161	157	146
欧州の顧客注文 (百万件)	13.0	11.8	10.7	10.0	12.4

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門					
営業収益	1,650	1,639	1,498	1,686	1,652
営業費用および減価償却費	-1,051	-1,164	-1,038	-1,001	-1,015
営業総利益	599	475	461	684	638
リスク費用	-7	7	-6	-3	-5
営業利益	592	482	455	681	633
持分法適用会社投資損益	52	57	17	38	44
その他の営業外項目	39	-3	-4	2	97
税引前利益	683	537	468	721	774
コストインカム率	63.7%	71.0%	69.3%	59.4%	61.4%
運用資産残高 (十億ユーロ。フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベート・バンキングの100%)	1,244	1,277	1,220	1,205	1,174
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	9.9	12.0	11.8	11.6	11.5
リスクアセット (十億ユーロ)	48.8	51.3	50.2	50.5	51.4
(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
保険事業					
営業収益	721	655	613	767	792
営業費用および減価償却費	-384	-410	-376	-367	-383
営業総利益	337	245	237	399	409
リスク費用	0	-1	0	-1	0
営業利益	337	244	237	399	409
持分法適用会社投資損益	36	30	-2	25	33
その他の営業外項目	1	-2	-4	0	0
税引前利益	373	272	231	424	442
コストインカム率	53.3%	62.6%	61.3%	47.9%	48.3%
運用資産残高 (十億ユーロ)	270	282	277	274	268
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	7.2	9.4	9.2	9.1	9.0
リスクアセット (十億ユーロ)	23.2	26.4	26.5	26.5	28.6
(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ウェルス&アセット・マネジメント事業					
営業収益	929	984	885	919	861
営業費用および減価償却費	-667	-754	-662	-634	-632
営業総利益	262	230	223	285	229
リスク費用	-7	8	-5	-2	-5
営業利益	255	238	218	282	223
持分法適用会社投資損益	16	28	19	13	12
その他の営業外項目	38	0	0	2	96
税引前利益	310	265	237	297	331
コストインカム率	71.8%	76.6%	74.8%	69.0%	73.4%
運用資産残高 (十億ユーロ。フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベート・バンキングの100%)	974	995	944	930	906
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	2.8	2.6	2.6	2.5	2.5
リスクアセット (十億ユーロ)	25.5	24.8	23.6	23.9	22.7
(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ウェルス・マネジメント事業					
営業収益	389	365	375	369	367
営業費用および減価償却費	-311	-290	-280	-270	-294
営業総利益	78	75	95	99	73
リスク費用	-7	1	-2	-6	-4
営業利益	71	77	93	93	69
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	0	1	0
税引前利益	71	77	93	94	69
コストインカム率	79.9%	79.3%	74.7%	73.1%	80.1%
運用資産残高 (十億ユーロ。フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベート・バンキングの100%)	421	427	412	411	403
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3
リスクアセット (十億ユーロ)	12.4	11.9	11.2	11.4	11.4
(単位: 百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
アセット・マネジメント事業 (不動産管理、プリンシパル・インベストメントを含む)					
営業収益	540	619	510	550	494
営業費用および減価償却費	-356	-464	-381	-364	-338
営業総利益	184	155	128	186	156
リスク費用	1	6	-4	3	-1
営業利益	185	161	125	189	155
持分法適用会社投資損益	16	28	19	13	12
その他の営業外項目	38	0	0	1	96
税引前利益	239	189	144	203	262
コストインカム率	65.9%	75.0%	74.8%	66.2%	68.4%
運用資産 (十億ユーロ)	553	568	532	519	503
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	1.5	1.3	1.3	1.3	1.2
リスクアセット (十億ユーロ)	13.2	12.9	12.4	12.5	11.3



(単位:百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ホールセールバンキング (CIB) 部門					
営業収益	4,702	3,264	3,588	3,714	3,670
営業費用および減価償却費	-3,353	-2,348	-2,243	-2,042	-2,834
営業総利益	1,349	915	1,346	1,672	836
リスク費用	-2	80	-24	-57	-172
営業利益	1,347	996	1,322	1,615	664
持分法適用会社投資損益	4	6	9	10	9
その他の営業外項目	1	1	0	12	11
税引前利益	1,353	1,003	1,331	1,637	683
コスト/インカム率	71.3%	72.0%	62.5%	55.0%	77.2%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	27.4	26.2	25.8	25.3	25.0
リスクアセット (十億ユーロ)	256.2	234.8	236.7	231.8	224.9
(単位:百万ユーロ)					
グローバル・バンキング事業					
営業収益	1,268	1,324	1,282	1,238	1,243
営業費用および減価償却費	-815	-655	-640	-589	-768
営業総利益	453	669	642	649	475
リスク費用	20	72	-24	-64	-185
営業利益	473	741	618	585	290
持分法適用会社投資損益	1	1	1	9	6
その他の営業外項目	0	-1	-3	0	0
税引前利益	474	740	616	594	296
コスト/インカム率	64.3%	49.5%	49.9%	47.6%	61.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	168	161	156	154	149
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	163	156	153	154	145
預金平均残高 (十億ユーロ)	190	185	184	185	184
リスク費用 (年率、bp)	-5	-18	6	17	51
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	15.2	14.3	14.0	13.5	13.6
リスクアセット (十億ユーロ)	145.3	133.8	137.4	134.5	124.0
(単位:百万ユーロ)					
グローバル・マーケット事業					
営業収益	2,821	1,338	1,731	1,904	1,846
うち FICC	1,700	755	896	1,148	1,149
うち株式およびプライムサービス	1,121	583	835	757	697
営業費用および減価償却費	-2,000	-1,224	-1,137	-999	-1,564
営業総利益	821	115	594	905	282
リスク費用	-21	10	-2	5	14
営業利益	799	124	592	910	296
持分法適用会社投資損益	2	5	2	5	2
その他の営業外項目	1	-5	4	2	3
税引前利益	802	125	598	917	302
コスト/インカム率	70.9%	91.4%	65.7%	52.5%	84.7%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	10.9	10.7	10.7	10.7	10.4
リスクアセット (十億ユーロ)	96.3	89.1	87.4	85.6	90.2
(単位:百万ユーロ)					
証券管理事業					
営業収益	613	602	575	571	581
営業費用および減価償却費	-538	-469	-465	-454	-503
営業総利益	75	132	110	117	78
リスク費用	0	-2	2	2	-1
営業利益	75	130	112	120	77
持分法適用会社投資損益	1	0	6	-4	1
その他の営業外項目	0	7	-1	10	7
税引前利益	77	138	117	126	85
コスト/インカム率	87.7%	78.0%	80.9%	79.4%	86.5%
預かり資産 (十億ユーロ)	11,907	12,635	12,273	12,067	11,638
管理資産 (十億ユーロ)	2,426	2,521	2,451	2,388	2,295
取引件数 (百万件)	38.6	35.5	32.8	33.3	35.7
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1
リスクアセット (十億ユーロ)	14.6	11.8	11.8	11.7	10.6



(単位：百万ユーロ)	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
その他業務					
営業収益	66	-5	-10	79	243
営業費用および減価償却費	-511	-264	-178	-217	-244
うち事業再編、IT強化、事業適応費用	-76	-82	-62	-71	-77
営業総利益	-445	-269	-187	-138	0
リスク費用	-54	0	-38	-67	-54
営業利益	-499	-269	-225	-205	-54
持分法適用会社投資損益	23	4	13	-20	20
その他の営業外項目	-43	247	-61	298	292
税引前利益	-519	-18	-274	73	257
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	3.8	4.3	4.2	4.3	3.9
リスクアセット（十億ユーロ）	22.1	28.7	33.4	32.4	35.2



代替的業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM） – フランス金融市場庁
（AMF）の一般規則第223-1条に基づく開示

代替的業績指標	定義	使用理由
事業部門損益計算書（P/L）（各事業部門の営業収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計）	<p>コマーシャル&個人向けバンキング サービス部門、インベストメント&プロテクション サービス部門、ホールセールバンキング部門の損益計算書の合計 （なお、コマーシャル&個人向けバンキング事業の損益には、フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルク、ドイツ、ポーランド、トルコおよび米国のプライベート・バンキングの2/3を含む）</p> <p>BNPパリバ・グループ損益計算書 ＝事業部門＋コーポレート・センターの損益計算書の合計</p> <p>グループ全体の損益計算書との関係は「コア事業別業績」の表で開示</p>	BNPパリバ・グループの本業の業績を示す指標
PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計（各事業部門の営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計）	<p>PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計</p> <p>グループの調整後の損益計算書の合計は「四半期業績の推移」の表で開示</p>	PEL/CEL口座の全存続期間にわたり発生するリスクに対する引当金変動を除く、当期の損益計算書の合計を表す指標
プライベート・バンキングの100%を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益計算書の合計	<p>プライベート・バンキング全体の損益を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益計算書の合計</p> <p>グループの調整後の損益計算書の合計は「四半期業績の推移」の表で開示</p>	<p>コマーシャル&個人向けバンキング事業の業績を示す指標であり、プライベート・バンキングの業績の全部を含む</p> <p>（プライベート・バンキングは、コマーシャル&個人向けバンキング(2/3)とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その割合にもとづきウェルス・マネジメントに損益を配分する前の数値）</p>
営業費用の変化（IFRIC 21を除外後）	IFRIC 21に基づく税金・拠出金を除いた上で、営業費用の変化を算定	IFRIC21に基づく税金および拠出金は、事業年度に関わるほぼ全額を第1四半期に計上するが、その影響を排除し、他の四半期との比較の際の混乱を避け、当事業年度の営業費用の推移をとらえる指標
コスト/インカム率	営業費用を営業収益で除した比率	銀行業務における業務の効率性を表す指標
リスク費用+期首顧客向け融資残高（単位：bp）	<p>リスク費用（単位：百万ユーロ）を期首の顧客向け融資残高で除したもの</p> <p>詳細な算定方法については、決算資料に添付された「融資残高に関わるリスク費用」で開示</p>	事業別の貸出金残高総額におけるリスクレベルの指標
不良債権カバー率	<p>金融資産（ステージ3）の引当金と当該資産（ステージ3）の減損後残高との関係を表す指標。</p> <p>対象となる資産は、バランスシート上およびオフバランスシートの債権を含み、受け取った担保と相殺する。顧客向けおよび金融機関向け債権には、償却原価で測定される負債および資本を通じて公正価値で測定する有価証券を含む（保険事業を除く）</p>	不良債権に対する引当の状況を表す指標
一時項目を除く株主帰属純利益	<p>一時項目を除いて算定された株主帰属純利益</p> <p>一時項目の詳細については、決算資料に添付された「主な一時項目」で開示</p>	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を除外した、BNPパリバ・グループの純利益を表す指標。除外される項目の主なものに、事業再編、事業適応、IT強化および事業変革費用がある。
自己資本利益率（ROE）	ROEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの自己資本の収益力を表す指標
有形自己資本利益率（ROTE）	ROTEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの有形自己資本の収益力を表す指標



比較分析 – 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。

事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。

連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算は全て、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用： 従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他営業費用、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

事業部門： 以下の3部門から成る。

- **コマーシャル&個人向けバンキング サービス (CPBS) 部門：**
 - コマーシャル&個人向けバンキング事業（フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、欧州・地中海沿岸諸国、米国）
 - 専門的金融事業—アルバル、リーシング・ソリューションズ、パーソナル・ファイナンス、ニューデジタル事業（Nickel、Lyf等を含む）、個人投資家事業
- **インベストメント&プロテクション サービス (IPS) 部門：** 保険事業、ウェルス&アセット・マネジメント事業（ウェルス・マネジメント事業、アセット・マネジメント事業、不動産管理事業、プリンシパル・インベストメントを含む）
- **ホールセールバンキング (CIB) 部門：** グローバル・バンキング事業、グローバル・マーケット事業、証券管理事業



堅調な決算	3
ホールセールバンキング（CIB）部門.....	6
コマーシャル&個人向けバンキング サービス（CPBS）部門.....	8
インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門.....	16
コーポレート・センター.....	17
財務構造.....	18
2022～2025年戦略プラン	19
連結貸借対照表－2022年3月31日現在－IFRS第5号比較表.....	21
連結損益計算書.....	22
2022年度第1四半期－コア事業別業績.....	23
連結四半期業績の推移.....	24
代替的業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM）－フランス金融市場庁 （AMF）の一般規則第223-1条に基づく開示	34

Investor Relations & Financial Information

Chrystelle Renaud +33 (0)1 42 98 46 45

Lisa Bugat +33 (0)1 42 98 23 40

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

Patrice Ménard +33 (0)1 42 98 21 61

Olivier Parenty +33 (0)1 55 77 55 29

Philippe Regli +33 (0)1 43 16 94 89

Debt Investor Relation Officer

Claire Sineux +33 (0)1 42 98 31 99

E-mail: investor.relations@bnpparibas.com

<https://invest.bnpparibas.com>



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world